

V 国の土台となる社会基盤の確保 16. EBPMの推進及び基盤となる統計の整備

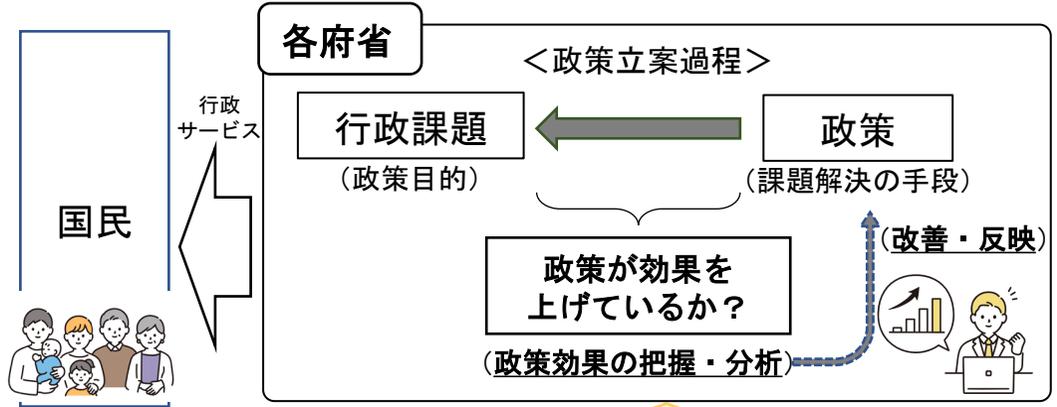
(1) 政策効果の把握・分析 (EBPM) の推進による各府省の政策立案等の支援

政策効果の把握・分析 (EBPM) の推進による各府省の政策立案等の支援

● 総務省は、各府省が自らの政策の効果を更に高め、政策を前に進める取組に貢献する。これらの取組を通じて、国民の行政に対する納得や信頼を高める。

● このため、政府全体として
①政策効果の把握・分析機能の強化、
②意思決定過程での活用の促進
に取り組む過程で、
各府省の課題を把握し、解決に向けて支援し、その知見の蓄積・展開を行う。

【予算】政策評価等活動推進経費 等
1.5億円
(6年度補正 0.5億円 7年度 1.1億円)



政策の効果を高めるために
有益な情報を得るためのサポート

総務省行政評価局

実践例などを内容とする「効果的な政策立案・改善に向けた政策評価のガイドライン」(令和6年3月)を随時拡充

知見・ノウハウの蓄積

- 生成AIを活用した政策評価の質の向上及び点検作業の効率化に向けた手法の検討
- 効果検証に関する実証的共同研究の拡充
- 国内外の効果検証に係る学術論文の整理・提供

V 国の土台となる社会基盤の確保

16. EBPMの推進及び基盤となる統計の整備

(2) 令和8年経済センサス - 活動調査など社会・経済実態の把握に資する統計調査等の実施

令和8年経済センサス - 活動調査の実施

- 全ての事業所・企業を対象とした5年ごとの「経済の国勢調査」を確実に実施することで、我が国の経済構造を正確に把握し、地域振興や経済政策その他の基礎資料を得る。

調査の概要

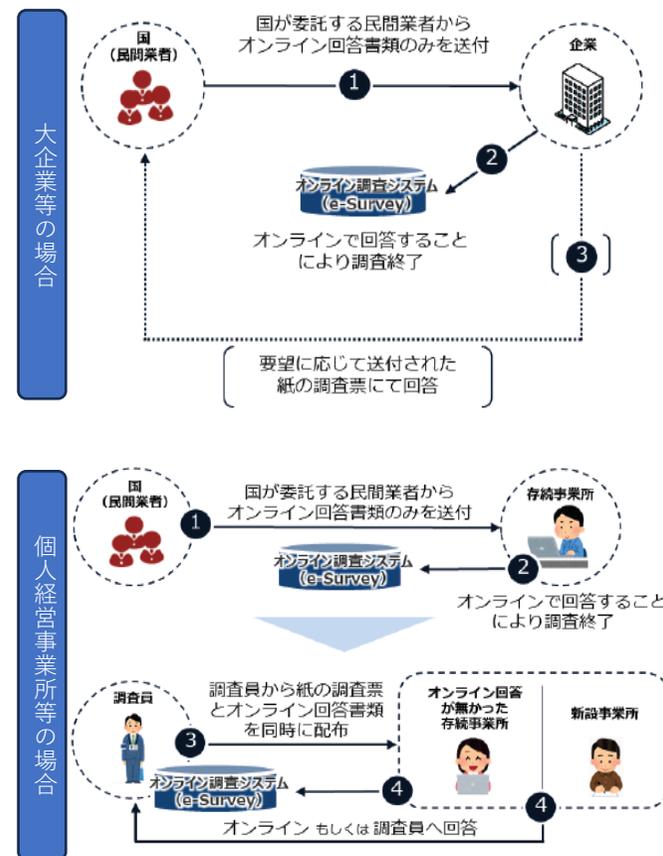
- 調査期日：令和8年6月1日
- 調査対象：全ての事業所及び企業
※農林漁業（個人経営）、家事サービス業、外国公務を除く
- 調査事項：従業者数、主な事業の内容、売上高・費用、製造品出荷額、在庫額、サービス収入の内訳 等
- 回答方法：①インターネット ②郵送 ③調査員に提出
- 調査の流れ：(大企業等) 国－調査対象
(個人経営事業所等) 国－都道府県・市区町村－指導員・調査員－調査対象

活用例

- 地域活性化政策、防災政策、中小企業支援施策
- 地方交付税の算定、地方消費税の清算
- 国民経済計算（GDP統計）・県民経済計算の推計 など

【予算】経済センサス活動調査経費
180.0億円（7年度 31.2億円）

オンライン回答推進の取組



V 国の土台となる社会基盤の確保

16. EBPMの推進及び基盤となる統計の整備

(2) 令和8年経済センサス - 活動調査など社会・経済実態の把握に資する統計調査等の実施

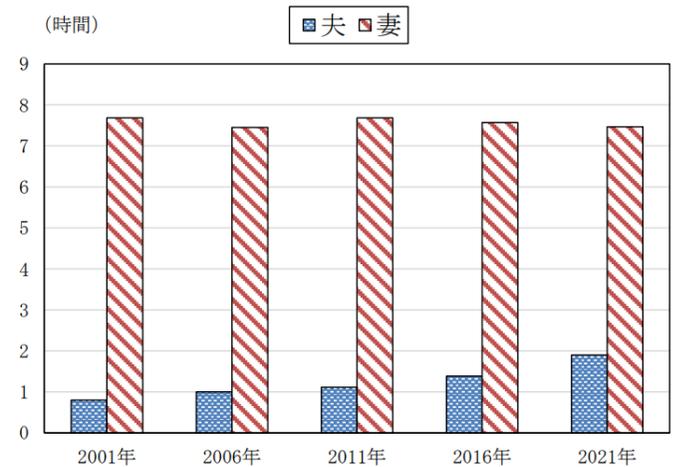
令和8年社会生活基本調査の実施

- 国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動を調査することで、国民の社会生活の実態を明らかにし、各種行政施策その他の基礎資料を得る。
- インターネットによる回答を更に推進し、回答のしやすさと精度の向上、回答される方の負担軽減を図る。

【予算】社会生活基本調査経費

8.9億円（7年度 0.2億円）

6歳未満の子供を持つ夫・妻の家事関連時間の推移
(2001年～2021年) 一週全体、夫婦と子供の世帯



社会・経済実態の把握に資する統計調査等の実施

- 適時・的確に社会・経済情勢の変化を捉える月次統計調査である小売物価統計調査（消費者物価指数）、労働力調査、家計調査、サービス産業動態統計調査などの継続的实施

【予算】人口及び経済の経常統計調査経費等 92.1億円（7年度 791.4億円）

- GDP統計や産業連関表の精度向上に向けた投入調査の拡充・見直し

【予算】GDP統計や産業連関表の精度向上に向けた投入調査の拡充・見直しのための経費 1.2億円（7年度 0.4億円）

V 国の土台となる社会基盤の確保

16. EBPMの推進及び基盤となる統計の整備

(3) 地域等における統計データの利活用の推進

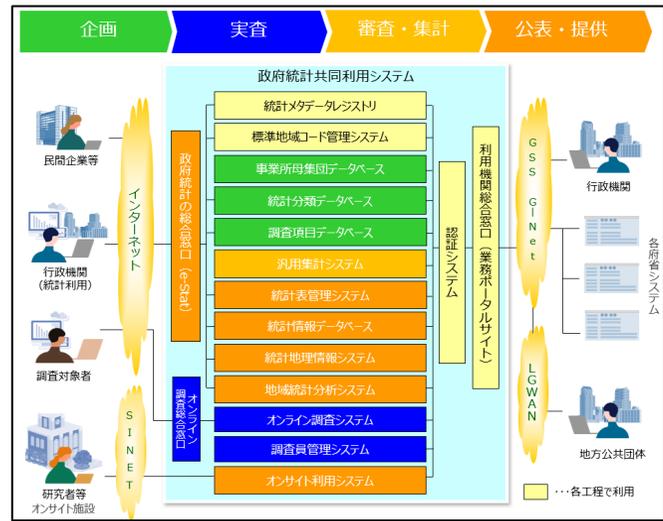
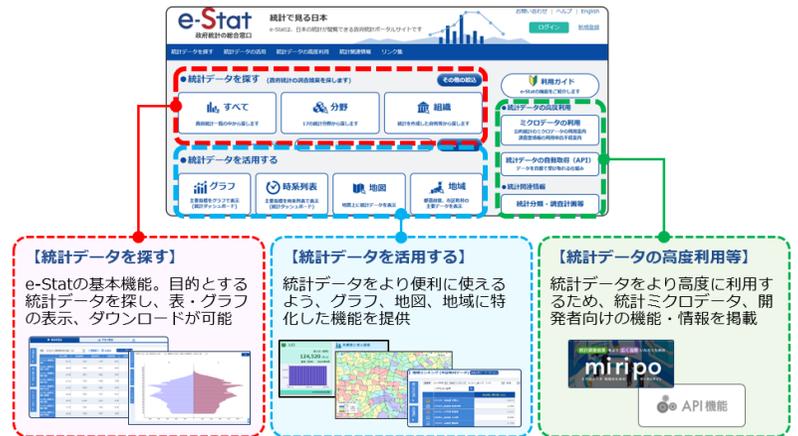
政府統計ポータルサイト等の機能充実

e-Statにおける統計データの利活用促進

- 令和10年1月予定の政府統計共同利用システムの更改に向け、要件定義や調査研究を行い、多様な利活用ニーズや地域分析機能の充実を含む高度な分析ニーズに応えるための最新技術を活用した機能の充実など、e-Statの利便性向上を図る。

【予算】 統計基盤のデジタル化推進
 3.0億円（6年度補正 3.5億円）

e-Statにおける統計データの利活用促進



V 国の土台となる社会基盤の確保

16. EBPMの推進及び基盤となる統計の整備

(3) 地域等における統計データの利活用の推進

ユーザー視点に立った統計データの利活用促進

① 調査票情報の二次的利用及びその円滑化・迅速化

- セキュリティを確保しつつ高度なデータ解析を可能とする環境（オンサイト施設）で調査票情報を提供するために必要なデータセンターを整備・運営
- 我が国全体の研究活動の活性化のため、大学及び研究機関等へのオンサイトの導入に関するコンサルティングの実施等、オンサイト施設の全国展開を推進
- リモートアクセス等による調査票情報（統計マイクロデータ）の提供を支援し、社会全体における統計データの利活用を一層推進

【予算】 統計データ利活用の推進

0.7億円（6年度補正 0.6億円 7年度 0.2億円）

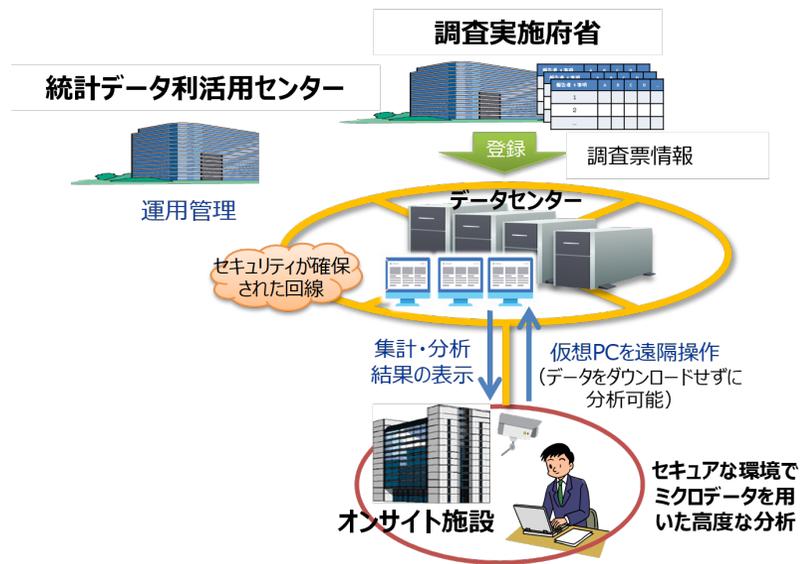
② データサイエンス・EBPMに資する統計データ利活用推進・支援

- 地方公共団体における統計マイクロデータを活用したEBPMの実践を支援
- 地方公共団体における実践的な取組事例の紹介により、EBPMの基礎となる統計データ利活用の推進を支援

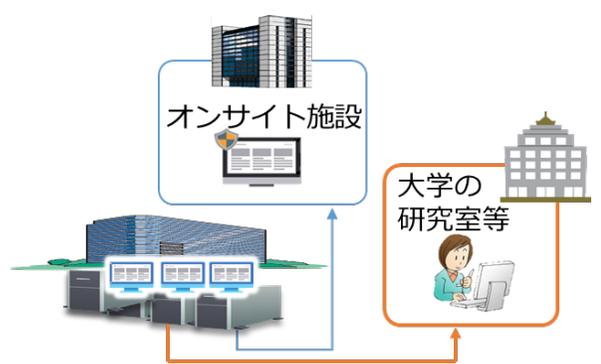
【予算】 統計データ利活用の推進

0.7億円（6年度補正 0.6億円 7年度 0.2億円） 【再掲】

オンサイト施設を用いた統計データの利活用



リモートアクセスを用いた利活用



V 国の土台となる社会基盤の確保

16. EBPMの推進及び基盤となる統計の整備

(3) 地域等における統計データの利活用の推進

統計人材の確保・育成

① ICTを活用した公的分野の統計人材の育成

- オンライン研修（eラーニング形式）を活用した研修プログラムの充実を図り、幅広く受講可能な仕組みを整備
- 双方向の演習を中心とした集合研修及びライブ配信と組み合わせることにより、効果的な統計研修を提供

公務員向け

○いつでも、どこでも、何度でも
受講可能な研修の提供
(eラーニング形式のオンライン研修)



○演習を中心とした双方向かつ
実践的な研修の提供



② データサイエンス関連事業

- データサイエンス・オンライン講座の提供・充実を通じて、統計リテラシーを有した“データサイエンス力”の高い人材の育成や、統計調査に対する協力意識の醸成を図る

一般向け

データサイエンス・オンライン講座



<入門編>
統計学の基礎や統計データ分析の基本的な知識を学ぶ

<演習編>
ビジネス上での分析事例を中心に実践的なデータ分析の手法を学ぶ

<活用編>
統計オープンデータを活用したデータ分析の基本的な知識を習得

③ 統計リテラシー向上セミナー

- 企業におけるデータサイエンススキルの裾野拡大及び政府統計データへの理解増進を図り、統計リテラシーの向上を促し、企業における統計データの有効活用を推進

民間企業向け

事例から学ぶビジネスパーソン向け
統計データ利活用セミナー（オンライン）

無料オンライン開催

事例から学ぶ
ビジネスパーソン向け
統計データ利活用セミナー

第1回	令和6年 12月 11日 (木) 14:00 ~ 17:00	参加受付中
第2回	令和7年 01月 21日 (水) 09:00 ~ 12:00	
第3回	令和7年 02月 21日 (金) 14:00 ~ 17:00	

Excelによる統計データ分析の基本

本セミナーの目的とゴール

目的	Excelを用いて、データ駆動型の基本的な統計分析の考え方を理解し、活用する。
ゴール	<ul style="list-style-type: none"> データ分析について理解する。 Excelのデータ分析機能の活用方法について理解する。 STAT MAPを用いたデータ分析の活用について理解する。

○セミナー動画・教材を公開
(いつでも誰でも視聴が可能)

【予算】統計人材の確保・育成 0.9億円
(6年度補正 0.4億円 7年度 0.6億円)